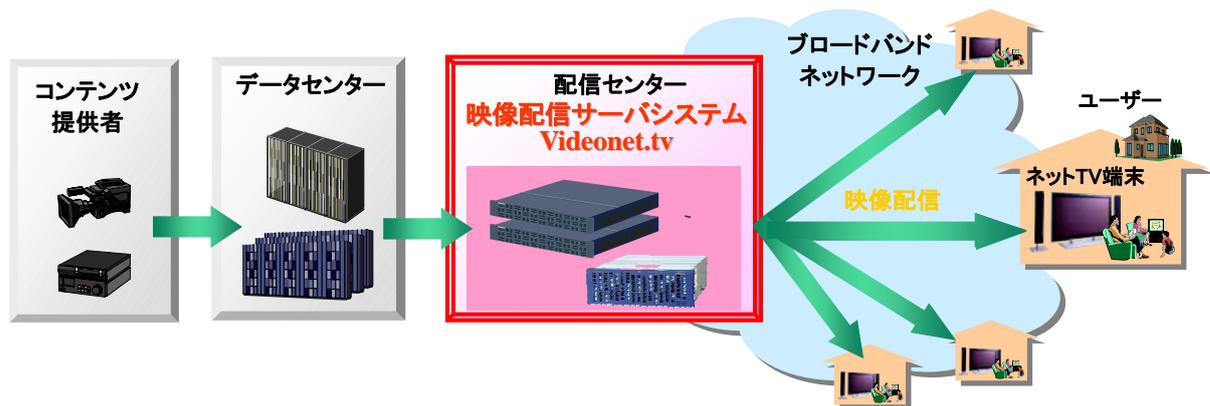


高性能映像配信サーバシステム「Videonet.tv」を販売開始
高精細とともに、より一層映像の木目細やかさにこだわったハイビジョン映像表示を
ネットTVで提供する大規模映像配信システムを実現



日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:篠本 学、以下 日立)は、ネットTV(*1)に対して、より高精細で高い配信性能を実現するだけでなく、映像の再生、停止時においてもスムーズで木目細やかな映像表示にこだわり、ハイビジョン映像を届けられる大規模映像配信サーバシステム「Videonet.tv」を製品化し、7月2日から販売を開始します。

「Videonet.tv」は、2010年度末までに500システムの販売を見込んでいます。

「Videonet.tv」は、ネットTVへの国内接続仕様であるデジタルテレビ情報化研究会ストリーミング仕様(*2)に業界で初めて準拠した映像配信サーバシステムであり、DRM(*3)には、MDC(*4)が技術仕様を策定する「Marlin IPTV-ES」(*5)を採用しています。また、ハイビジョンコンテンツのTV表示を意識した業界最高水準である1,500Mbpsの高い配信性能を実現するだけでなく、画像の木目細やかさにこだわって、より高精細な映像を送り届けるための技術を盛り込みました。

*1)ネットTV:「デジタルテレビ情報化研究会 ストリーミング仕様」に準拠したネットワークに接続されたTV端末。

*2)デジタルテレビ情報化研究会ストリーミング仕様:通信サービスに対応したテレビが持つべき機能の検討を行う研究会が策定した仕様。デジタルテレビ情報化研究会URL <http://nw-dtv.jp/>

*3)DRM(Digital Rights Management):デジタルコンテンツの著作権を保護する機能。

*4)MDC:Marlin Developer Community,LLC Marlinの技術仕様を策定する団体

*5)Marlin IPTV-ES:MDCが技術仕様を策定するデジタル化されたコンテンツの著作権を保護する技術規格。

来るべきネットTV普及時代において、ネットTVでもネットワークを経由したハイビジョン映像を、地上波によるハイビジョン映像と変わりなく視聴できることが求められます。そのために、高精細な映像をネットTVに送り届ける映像配信システムが必要です。

日立は、昨年9月25日に、いち早く高精細な映像配信を実現するネットTV接続仕様を盛り込み、ハイビジョンコンテンツに対応した高性能な映像配信サーバシステム「Videonet.tv/Lite」を製品化し、ネットTVの開発向け用途や小規模なパイロットサービス向け用途に展開してきました。この「Videonet.tv/Lite」の市場投入により、日立は、画像の木目細やかさにこだわって、より高精細なハイビジョン映像を提供する技術やノウハウを培ってきました。

新製品の「Videonet.tv」は、日立グループが長年のTV開発で培った最新技術やノウハウにより、従来の「Videonet.tv/Lite」と比べ、スムーズな映像切り替えを可能とする技術、パケット欠落を補正しネットTV端末での映像劣化を防止する技術、デジタル放送サービスと同等なコンテンツ品質を確保するための技術など、より一層映像の木目細やかさにこだわった映像配信技術を取り込むことができました。さらに、大規模映像配信に対応する、複数の映像配信サーバをグルーピングしたコンテンツアップロード機能や、大規模システムの運用をサポートする支援機能を充実させました。これにより、ネットTV向けの本格的な映像配信サービスのシステム構築を可能とします。

また、運用支援のためのシステムとして、コンテンツの作成、品質チェック、登録処理の自動化を行う「コンテンツ制作システム」も本年9月に製品化する予定です。

※高性能映像配信サーバシステム「Videonet.tv」は6月13日～15日に幕張メッセで開催される「Interop Tokyo 2007」日立ブースに出展します。

■「ネットTV向け高性能映像配信サーバシステム」の価格及び提供時期

製品名	価格	提供時期
映像配信サーバシステム「Videonet.tv」 ・コンテンツ登録管理プログラム ・VOD配信制御プログラム ・高性能I/Oエンジンプログラム	650万円～(*6) (税抜:619万円～)	2007年7月2日

*6) 650万円～:本価格は、ハードウェアを除いたソフトウェアのみの金額となります。

※推奨最小構成例:

- ・「Videonet.tv」650万円(税抜:619万円)
- ・高性能I/Oエンジンサーバ:「HA8000/110W(1Uラック)」136万円(税抜:130万円)
- ・高性能I/Oエンジンサーバ以外:「HA8000/110W(1Uラック)」168万円(税抜:160万円)
- ・ストレージ:「Hitachi AMS200」861万円(税抜:820万円)

合計:1,815万円(税抜:1,729万円)

■「Videonet.tv」ホームページ

<http://network.hitachi.co.jp/videonet/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信グループ ネットワークソリューション事業部
ソリューション本部 【担当:原田、小西】
〒212-8567 神奈川県川崎市幸区鹿島田890(日立システムプラザ新川崎)
電話:044-549-1430(ダイヤルイン)

以上

【添付別紙】

「Videonet.tv」の主な特長

1. ネット TV への国内接続仕様に対応

デジタルテレビ情報化研究会 ストリーミング仕様に準拠しており、ネットTV端末からのリクエストに応じた映像配信を実現できます。DRMである「Marlin IPTV-ES」に対応し、映像フォーマットは、MPEG-2に加え、H.264/AVC(*7)にも対応しました。また、送出仕様についても、両フォーマットともTS(*8)、TTS(*9)をサポートしています。これより、ネットTV端末側のコンテンツ受信処理に合わせた配信が可能です。

*7) H.264/AVC:ITU(国際電気通信連合)によって勧告された、動画データの圧縮符号化方式の一つ。ISO(国際標準化機構)によって動画圧縮標準MPEG-4の一部(MPEG-4 Part 10 Advanced Video Coding)としても勧告されている

*8) TS(Transport Stream):ISO/IEC13818-1にて規定される映像や音声を多重化する形式

*9) TTS:タイムスタンプ付きTS形式

2. 高性能な配信専用エンジンの採用

- ①ハイビジョンコンテンツなどの高精細・高品質な大容量データを配信するため、配信専用エンジンを採用し、1,500Mbpsの高い配信性能を実現します。例えば、フルハイビジョンなど10Mbpsのコンテンツの場合には、150ストリームの同時配信が可能です。
- ②レートの保証(書込みや読み出し処理に影響がないように保証する)が不要なコンテンツ登録による書込み処理を、アイソクロナススケジューラ(*10)で分割実行することにより、書込み処理中でも、配信に伴う読み出しレートを保証します。
- ③アイソクロナススケジューラにてコンテンツの配信間隔を安定制御し、コンテンツレートの一定化を確保する送出データバースト抑制機能を実現します。

*10) アイソクロナススケジューラ: 周期的起動の必要なコンテンツ配信タスクのCPU時間を静的に予約し、CPU負荷に関わりなくQoSを保証したスケジューリングを行う機能

3. 高品質な映像再生に必要な機能を搭載

- ①GOP(*11)境界を意識した配信制御により、ネットTV端末におけるスムーズな映像切り替えが可能です。
- ②ProMPEG方式対応のFEC(*12)機能により、ネットワーク上でのパケット欠落を補正し、ネットTV端末での映像劣化を防止します。
- ③デジタル放送サービスと同等なコンテンツ品質を確保するため、TV表示を意識した登録コンテンツの木目細かいコンテンツチェック機能を実現します。

*11) GOP(Group of picture): MPEG2圧縮方式において圧縮・再生処理を行う映像データの単位

*12) FEC(Forward Error Correction): 伝送路上で生じたデータ欠落を受信時に補正するための方式

4. 大規模映像配信サービスへの対応

- ①大容量および多数のコンテンツを配信するために、SAN(*13)接続の外部ストレージよりコンテンツを配信します。また、外部ストレージ増設による大容量化が可能です。
- ②大規模システムによる複数配信サーバをグルーピングすることで、グループ毎のコンテンツアップロードを自動化し、運用オペレーションを軽減します。
- ③複数配信サーバの負荷状況を確認し、ネットTV端末からのリクエスト時に最適な配信サーバを選択する自動負荷分散機能を実現します。

*13) SAN(Storage Area Network): 外部記憶装置間および記憶装置とコンピュータの間を結ぶ高速なネットワーク

高性能映像配信サーバ「Videonet. tv」仕様

■ハードウェア仕様(推奨)

	高性能 I/O エンジン サーバ以外	高性能 I/O エンジン サーバ	ストレージ
型式	HA8000/110W	HA8000/110W	Hitachi AMS200
CPU	Xeon® 3.0GHz × 2	Xeon® 3.0GHz × 1	—
メモリ	4GByte	4GByte	キャッシュ 2GByte
HDD	73GByte × 3: SCSI (RAID5)	160GByte: SATA	860GByte: FC (RAID5) (200 時間/10Mbps)

■ソフトウェア仕様

	内容	備考
VOD 配信制御 同時接続数	最大 1,000 (RTSP セッション数)	—
コンテンツ 登録管理数	最大 20,000 タイトル	—
高性能 I/O エンジン	最大 1,500Mbps (RTP 配信帯域)	10Mbps の場合、 150 ストリーム
対応フォーマット	MPEG-2 TS, MPEG-2 TTS, H.264/AVC TS, H.264/AVC TTS	—
ネットワーク	IPv4 / IPv6	—
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ TTS 生成ツール同梱 ・ トリックプレイ用フレーム情報生成ツール同梱 	—

・Xeon、Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
